

## ■重要施策

( )内は前年度決算額

### ① 七隈線延伸事業の推進

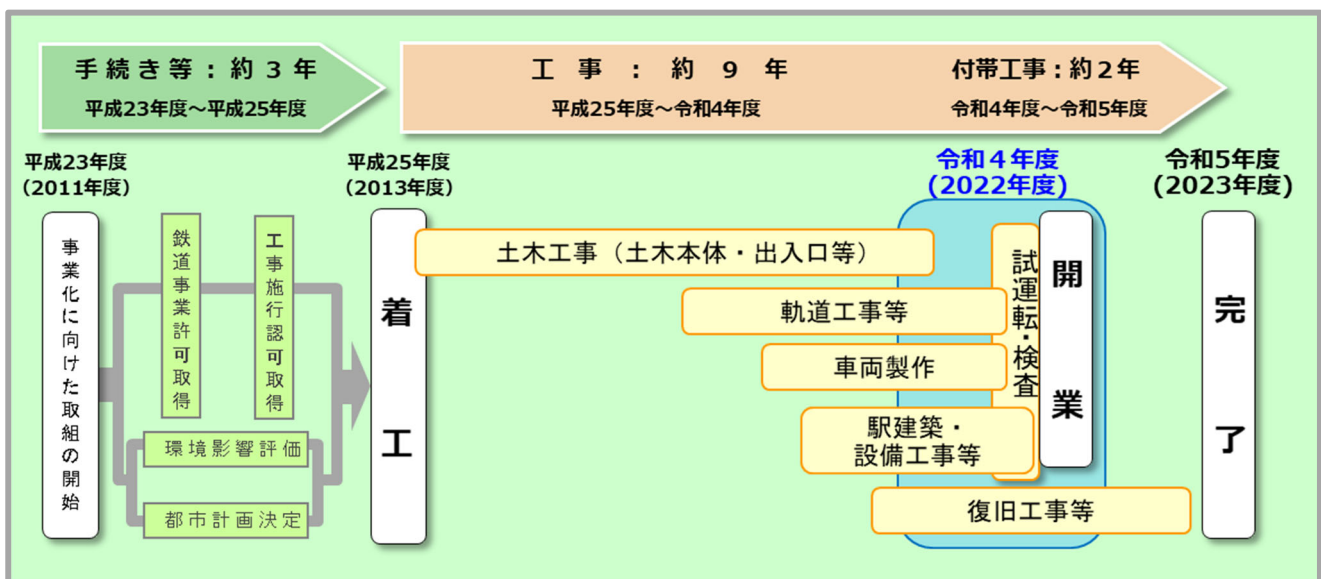
14,227,904 千円 (12,271,522 千円)

安全対策に万全を期しながら、土木工事や軌道工事、駅建築・設備工事等を推進したほか、試運転の実施や各種検査等に着実に取り組み、令和5年3月27日に開業した。

また、開業に向け、市民に期待感や親しみをもっていただけるような広報及びイベント等を実施するとともに、市政だよりやホームページ、SNSなどによる多様な情報発信に取り組んだ。

#### <事業の概要>

- ◇延伸区間 天神南～博多
- ◇建設キロ 約1.4 km (営業キロ約1.6 km)
- ◇事業費 約602億円
- ◇開業日 令和5年3月27日



(単位：千円)

事業名	最終予算 A	決算額 B	翌年度 繰越額 C	不用額 A-(B+C)	備考
七隈線延伸事業	14,586,276	14,227,904	314,972	43,400	・土木工事 ・軌道工事 ・駅建築・設備工事 等

※上記には高速鉄道事業会計以外の負担により施工する受託工事費等を除く

( )内は前年度決算額

## ② 安全・安心の確保

2,236,009千円 (2,840,055千円)

安全を最優先とする組織風土を確立するため、運輸安全マネジメントのスパイラルアップを図るとともに、教育訓練の充実などによる安全スキルの向上や、施設・車両などの安全性確保、様々な自然災害やテロ対策の強化等に取り組んだ。

また、安全・安心の取組みに関する情報を積極的に発信した。

### ア 施設、車両などの安全性の確保

2,160,483千円 (2,752,367千円)

トンネルなどの土木構造物について、長期的な補修計画に基づき改良工事を実施するとともに、電力遠制装置や七隈線運行管理システムなどを計画的に更新し、施設・設備等の安全性の確保に取り組んだ。

また、車両については、2000系車両の大規模改修や3000系車両の列車制御装置の更新等を行い、安全性や快適性を向上させるとともに、運用開始から40年が経過した1000N系車両更新のため、新造車両製作を推進した。

そのほか、姪浜車両基地の安定的な機能維持のため、建築物等の経年劣化に対応した改修事業を推進した。

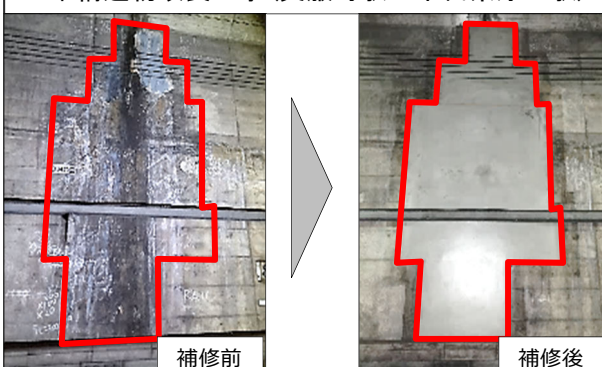
### イ 災害対策などの強化

75,526千円 (87,688千円)

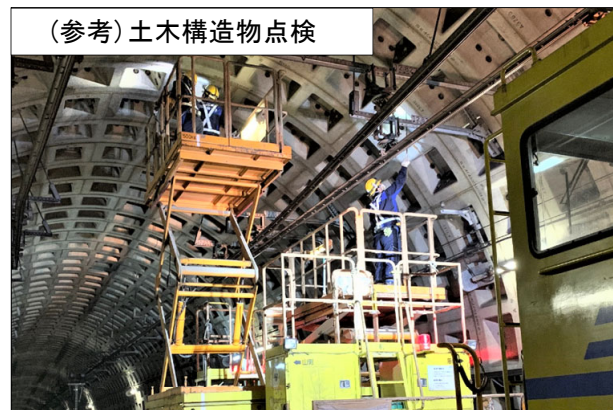
局地的な集中豪雨などによる浸水に備え、駅施設の浸水対策を強化した。

また、新たに「バリアフリースイッチ」の自動扉押しボタン及びエレベーター押しボタンの非接触化を実施するとともにマスクアンドライドの推進、既存の駅や車両などにおける消毒や抗ウイルス化の実施など、新型コロナウイルス感染症対策に継続して取り組んだ。

土木構造物改良工事(呉服町駅～千代県庁口駅)



(参考)土木構造物点検



七隈線運行管理システム更新



2000系車両大規模改修(内装張替)



(単位：千円)

事業名	最終予算額 A	決算額 B	翌年度 繰越額 C	不用額 A-(B+C)	備考
ア 施設、車両などの 安全性の確保	2,563,230	2,160,483	396,825	5,922	
土木構造物改良工事	153,938	153,938	-	0	トンネル断面修復 等
姪浜駅リニューアル	21,639	19,670	-	1,969	内外壁等改修
駅内外装大規模改修	3,882	3,882	-	0	中洲川端駅内外装改修 実施設計
自動列車制御装置 (ATC)更新	383,977	-	383,977	-	対象駅：貝塚駅 (7 駅中 7 駅目)
電力遠制装置更新	345,040	345,037	-	3	七隈線延伸事業に伴う 機器の新設・改良、主要 機器の更新 等 (再掲額を含む)
七隈線運行管理 システム更新	122,232	122,232	-	-	七隈線延伸事業に伴う 機器の新設・改良、主要 機器の更新 等(再掲 額)
2000系車両大規模 改修	863,842	850,991	12,848	3	車体の補修、主要機器 の更新 等
3000系車両列車制御 装置更新	383,680	383,680	-	-	自動列車制御装置、自 動列車運転装置の更新 等
姪浜車両基地改修	285,000	281,053	-	3,947	管理棟改修工事 等
イ 災害対策等の強化	80,529	75,526	4,596	407	
浸水対策事業	23,592	23,231	-	361	駅施設の浸水対策改良 工事
新型コロナウイルス 感染症対策	56,937	52,295	4,596	46	「バリアフリートイレ」の自動 扉押しボタンの非接触化、 駅や車両の消毒、マスクア ンドライドの推進、お客様 用消毒液の全駅配置 等 (再掲額を含む)
合計	2,643,759	2,236,009	401,421	6,329	

( )内は前年度決算額

③ 快適で質の高いサービスの提供

1,781,726千円 (451,716千円)

お客様により満足いただける高品質なサービスを提供するため、スムーズな輸送サービスや快適・便利な環境づくりに取り組むとともに、高齢者や障がいのある人に対応したサービスの提供や来街者にも使いやすい環境整備など「ユニバーサル都市・福岡」にふさわしい地下鉄運営を推進した。

ア みんなが使いやすい環境づくり

131,278千円 (252,353千円)

駅バリアフリールートの充実及び観光客などの移動円滑化の推進を図るため、博多駅筑紫口においてホーム階からコンコース階までのエレベーター設置工事等を実施した。

イ 快適・便利な環境づくり

1,597,797千円 (127,434千円)

お客様に安心・快適にご利用いただくため、乗車マナー向上に関する取組みを継続するとともに、駅の空調設備を改善した。

また、七隈線博多駅及び櫛田神社前駅において、お客様の安全な乗降を確保するため、新技術を活用したホームドアを導入した。

そのほか、七隈線の混雑緩和等を図るため3000A系車両1編成を導入した。

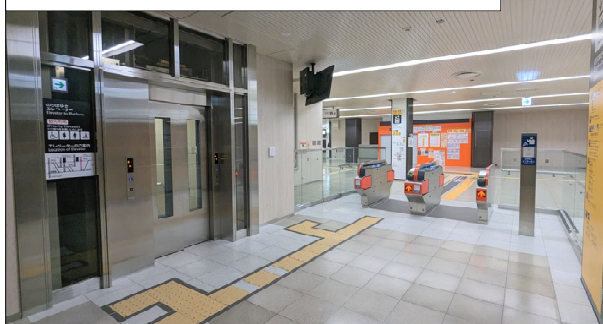
なお、3000A系車両には、車内における犯罪防止等、セキュリティ向上を目的として車内に防犯カメラを設置した。

ウ 来街者にも使いやすい環境整備とサービスの提供

52,651千円 (71,929千円)

福岡市を訪れる国内外からのお客様などの利便性向上を図るため、博多駅に地下鉄駅コンシェルジュを配置するとともに、地下鉄車内や駅の案内サインについて、車内案内表示器の外国語表記を含め、より分かりやすい案内表示の改修を進めた。

駅バリアフリールートの充実  
(博多駅筑紫口エレベーター設置)



混雑の緩和 (3000A系車両導入)



インバウンド対策 (博多駅コンシェルジュ)



駅空調の改善 (赤坂駅クールルーム)



(単位：千円)

事業名	最終予算額 A	決算額 B	翌年度 繰越額 C	不用額 A-(B+C)	備考
ア みんなが使い やすい環境づくり	134,941	131,278	-	3,663	
駅バリアフリー ルートの充実 (昇降機増設)	134,941	131,278	-	3,663	博多駅筑紫口エレベーター 設置工事 等
イ 快適・便利な環境 づくり	1,705,603	1,597,797	101,982	5,824	
乗車マナーの向上	105,060	40,181	64,877	2	乗車マナー向上キャンペー ン、エスカレーター音声案内 装置設置 等
防犯対策の強化	8,989	8,989	-	0	3000A 系車両車内防犯カメラ の設置
混雑の緩和	1,304,759	1,303,923	836	0	3000A 系車両製作 等 (再掲額を含む)
安全な乗降の 確保	220,880	220,880	-	-	七隈線博多駅及び櫛田神社 前駅ホームドア導入 (再掲額)
駅空調の改善	65,915	23,824	36,269	5,822	クールルームの改善(空港・ 箱崎線)、空調設備の改善 (七隈線)
ウ 来街者にも使い やすい環境整備と サービスの提供	52,651	52,651	-	0	
インバウンド対策	52,651	52,651	-	0	駅案内サイン及び車内案内 表示器の改修、地下鉄駅コン シェルジュ 等 (再掲額を含む)
合計	1,893,195	1,781,726	101,982	9,487	

( )内は前年度決算額

#### ④ まちづくりへの貢献

1,511,296千円 (241,822千円)

福岡のまちの発展に貢献するため、駅周辺のまちづくりに対応した駅施設の改良や、沿線の地域、イベント、施設などと連携した取組みを推進した。

また、省エネの推進など環境対策に関する取組みを推進した。

#### ア 沿線まちづくりに対応した駅施設の改良など

205,257千円 (2,466千円)

博多駅筑紫口において、駅リニューアルの一環として、お客様の安全性や快適性の向上を図るため、エレベーター設置工事や天井、壁、誘導ブロックなどの内外装改修を実施した。

#### イ 環境対策に関する取組み

1,306,039千円 (239,356千円)

省エネのため、トンネル内及び駅施設の照明や駅構内の電照広告のLED化を計画的に実施し、使用する電力の削減に取り組んだ。

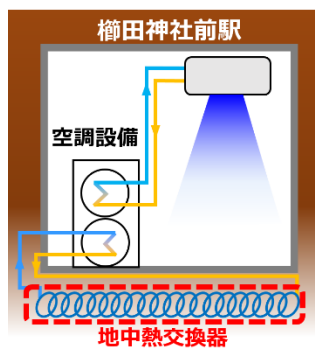
また、再生可能エネルギーの利用を促進するため、七隈線博多駅及び櫛田神社前駅において下水熱や地中熱を活用した空調設備を導入したほか、本局庁舎における使用電力を再生可能エネルギーに転換した。

#### 再生可能エネルギーの利用促進

##### ● 地中熱の活用(櫛田神社前駅)

駅の下に地中熱交換器を設置し、駅の空調に地中熱を活用しています。地下鉄駅では全国初の取組みです。

##### 地中熱の空調活用イメージ

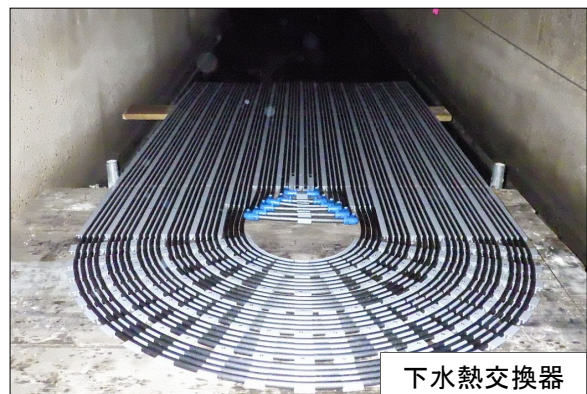
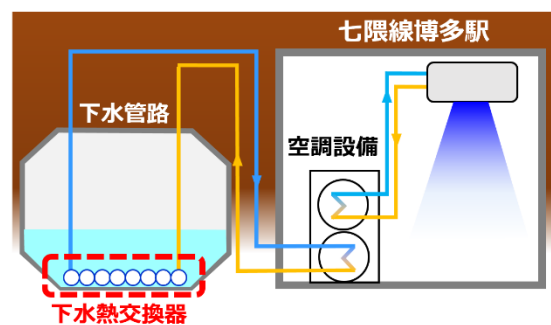


地中熱交換器

##### ● 下水熱の活用(博多駅)

下水管路内に下水熱交換器を設置し、駅の空調に下水熱を活用しています。九州では初、鉄道事業者では全国初の取組みです。

##### 下水熱の空調活用イメージ



下水熱交換器

(単位：千円)

事業名	最終予算額 A	決算額 B	翌年度 繰越額 C	不用額 A-(B+C)	備考
ア 沿線まちづくりに対応した駅施設の改良など	205,959	205,257	-	702	
博多駅筑紫口 リニューアル事業	205,959	205,257	-	702	エレベーター設置工事、 内外装改修工事 等 (再掲額を含む)
イ 環境対策に関する 取組み	1,306,794	1,306,039	-	755	
駅照明等のLED化改 良工事	202,920	202,178	-	742	トンネル内照明・貝塚駅照 明・電照広告のLED化
再生可能エネルギー の利用促進	1,103,874	1,103,861	-	13	七隈線博多駅及び櫛田 神社前駅における再生可 能エネルギーの導入 等 (再掲額を含む)
合計	1,512,753	1,511,296	-	1,457	

( )内は前年度決算額

## ⑤ 経営基盤の強化

44,445千円 (16,412千円)

新型コロナウイルス感染症の影響など、経営環境の大幅な変化に対応するため、地下鉄の中長期的な経営の基本計画である経営戦略の見直しに着手した。

また、経営基盤を強化するため、データ分析に基づく戦略的な営業施策の推進、広告・駅ナカ事業収入の確保や遊休資産の有効活用に取り組んだ。

そのほか、地下鉄を支える人材の計画的な確保と育成に取り組んだ。

### ア 経営戦略の見直し着手

148千円 (－千円)

新型コロナウイルス感染症の影響など、経営環境の変化に対応するとともに、将来にわたって安定的に事業を継続していけるよう、平成31年2月に策定した福岡市地下鉄経営戦略の見直しに着手した。

### イ 戦略的な営業施策の推進

28,098千円 (4,015千円)

「新しい生活様式」の定着など、地下鉄を取り巻く環境の変化に対応し増客増収を図るため、七隈線延伸区間の開業を活かした営業施策を実施した。

### ウ 人材確保と育成

16,199千円 (12,397千円)

交通局人材育成プランに基づき、専門的かつ高度な知識や技術を有する人材を育成していくため、研修の充実に取り組むとともに、鉄道に関する幅広い知識の習得や専門技術の向上に向けた取組みを推進した。

## 七隈線延伸区間開業を活かした営業施策の実施

### 地下鉄フェスタ2022



### 駅デコバッグでスタンプラリー



### ちかてつ探検隊(駅シンボルマークシール集めの旅)



### (参考) タッチ決済乗車実証プロジェクト





(単位：千円)

事業名	最終予算額 A	決算額 B	翌年度 繰越額 C	不用額 A-(B+C)	備考
ア 経営戦略の見直し 着手	148	148	-	0	
経営戦略の見直し 着手	148	148	-	0	福岡市地下鉄経営戦略懇話 会開催経費
イ 戦略的な営業施策の 推進	28,100	28,098	-	2	
営業データの分析・ 活用	8,217	8,217	-	-	各種営業データの分析を通 じた新たな施策の検討 等
七隈線延伸区間開 業を活かした営業施 策の実施	19,883	19,881	-	2	時短案内サインの設置・七隈 線沿線地域の魅力発信 等
ウ 人材確保と育成	16,207	16,199	-	8	
安全・安心を支える 人材の育成	16,207	16,199	-	8	基本研修、派遣研修、資格 取得支援 等
合計	44,455	44,445	-	10	